

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

コンクリートの素材・材料にこだわって、「コンクリートの長寿命化」に貢献する企業を目指す。コンクリートの長寿命化が熊本の建造物の長寿命化につながる。将来的にそのことが、無駄な資源を使うことなく環境負荷を減らすことにつながるように目指していく。また、コンクリートの製造過程においても環境負荷の削減を意識する。人の面においては、従業員がより長く、安心して働ける職場環境を作る。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)	
☑ 環境 □ 社会 ☑ 経済	生コンクリートを製造する際の製品ロス(受注間違いや製造設備トラブルによる製品不良)を20%減少させる。	項目	製品ロス量
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		43.6㎡	34.9㎡
☑ 環境 □ 社会 ☑ 経済	生コンクリートの製造過程において、排出された水を再利用することにより、環境負荷を減らす。	項目	回収水(再利用水)での製造件数
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		10件	30件
□ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	経験を問わない中途採用の実施、また、経験を問わず、安心して働ける職場を作る。企業の持続に向けて高齢に伴う退職者に代わる人材を確保する。	項目	中途採用人数
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		2名	5名

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標項目と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。前期と同じ取組みの場合は、現状の数値と下記の前期実績が一致しているかをご確認ください。

<パートナーシップ>

品質の高い生コンクリートを出荷するために、材料を提供してもらう卸業者に意識を持って品質の高い材料を提供してもらう。
 生コンクリートを作る関連会社の工場に関しても、環境負荷を減らし、品質の高いものを作る意識・コンクリートの出荷前の品質チェックの徹底を行ってもらう。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標	
☑ 環境 □ 社会 ☑ 経済	生コンクリートを製造する際に良質な材料を使うことにより、使用するセメントの量を減らす。セメント量が減ることにより、二酸化炭素の削減に繋がる。また、良質な材料を使うことで、コンクリートの劣化を防ぎ、長寿命化が図れる。	同一強度のコンクリートの中に含有される製品毎のセメント量を他社の標準的なセメント量より、3年間で単位量10kg/㎡減少させる。	
		進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
		・セメント使用量管理表をもとに毎月実績把握していたが生コンクリートの出荷量が増大した為未達成。	・2023~2025年度15.95kg/㎡増加
☑ 環境 □ 社会 ☑ 経済	生コンクリートの製造過程において、排出された水を再利用することにより、環境負荷を減らす。	再利用水の使用率を3年間で30%増加させる。	
		進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
		達成	・全体の水使用量に対する回収水(再利用水)の30%増加は達成し現在は使用比率80%になった。
□ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	年齢を問わない中途採用の実施、また、年齢を問わず、安心して働ける職場を作る。	2022年から2025年の3年間で1人採用(グループ会社で5人採用)	
		進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
		達成	2名

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、前期の重点的な取組みの実施状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。

※提出前に全てセルが青色から白色に変更になっているかをご確認ください。